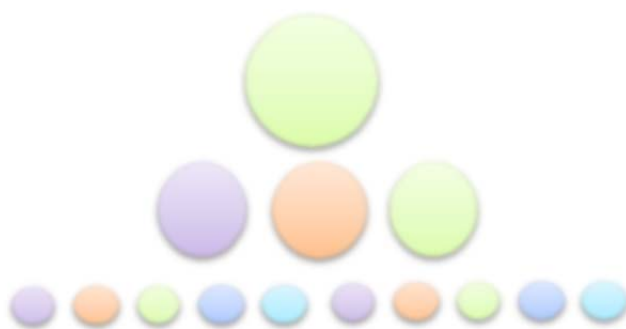


第 27 回（2016 年度）

緑の環境プラン大賞

募 集 要 綱



「シンボル・ガーデン」部門

「ポケット・ガーデン」部門

特別企画「おもてなしの庭」

公益財団法人都市緑化機構 第一生命保険株式会社 一般財団法人第一生命財団

「緑の環境プラン大賞」の趣旨

公益財団法人都市緑化機構および第一生命保険株式会社では、緑豊かな都市環境の形成を図るとともに、生活の質の向上やコミュニティの醸成等に役立つことを願い、1990年に「緑のデザイン賞」を創設し、緑化のプランの実現のための助成を開始しました。その後、環境への配慮といった時代の要請に一層応えるべく、2009年度に「緑の環境デザイン賞」と改称し、都市の環境共生に必要な緑地機能を新たな評価基準として加え、深刻化している環境問題への対応を図ってきました。さらには、2015年度からは、2020年に向けた期間限定の特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする「おもてなしの庭」プログラムへの助成を東京都限定で実施しています。

このように、優れた緑化のプランを表彰し、その実現のための助成を行ってきた「緑の環境デザイン賞」ですが、さらに多くの皆さまに関心を持っていただき、緑の創出を通じて、昨今の社会的重要課題である都市環境の保全や再生・地域コミュニティの形成・生活の質の向上に対応していくことを、これまで以上に積極的に進めていきたいと考えました。

このため、2016年度からは、賞名を『緑の環境プラン大賞』と改称するとともに、募集を地域のシンボルとなり都市環境の保全・再生に貢献する『シンボル・ガーデン』部門、地域コミュニティの形成につながる『ポケット・ガーデン』部門、花と緑で観光客を迎える特別企画『おもてなしの庭』に見直しを行いました。

さらに、本賞の目的である生活の質の向上やコミュニティの醸成の実現への取り組みを一層強化するため、豊かな次世代社会の創造に寄与することを目的として、健康で住みやすい社会の実現に取り組んでいる「一般財団法人第一生命財団」を主催に加え、より強力な体制により本賞の運営を進めてまいります。

公益財団法人 都市緑化機構

第一生命保険株式会社

一般財団法人 第一生命財団

目 次

募集概要	3
都市環境の再生・保全に貢献する	
『シンボル・ガーデン』部門（上限 1,000 万円）	5
コミュニティの憩いの場を創造する	
『ポケット・ガーデン』部門（上限 100 万円）	8
花と緑で観光客を迎える	
特別企画『おもてなしの庭』（上限 2,020 万円）	11
■ その他の事項	
募集から助成までの流れ	15

募集概要

部門	内容
シンボル・ガーデン 	■ 募集対象：全国の民間・公共の各種団体 ■ 助成金額：上限 1,000 万円 ■ 助 成 数：3 件程度 ■ 募集内容： 地域のシンボル的な緑地として、緑の持つヒートアイランド緩和効果、生物多様性保全効果等を取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成、および地域コミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集します。
ポケット・ガーデン 	■ 募集対象：全国の民間・公共の各種団体 ■ 助成金額：上限 100 万円 ■ 助 成 数：10 件程度 ■ 募集内容： 日常的な花や緑の活動を通して、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育、身近な環境の改善等に寄与するアイデアを盛り込んだ花や緑のプランを募集します。
特別企画	内容
おもてなしの庭 (東京都限定) 	■ 募集対象：民間・公共の各種団体 ■ 助成金額：上限 2,020 万円 ■ 助 成 数：1 件程度 ■ 募集内容： 2020 年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを東京都内限定で募集します。

審 査 員

委員長	進 士	五十八	東京農業大学 名誉教授 / 福井県立大学 学長
委 員	金 子	忠 一	東京農業大学 教授
	栗 田	卓 也	国土交通省 都市局長
	永 山	妙 子	マネジメントコンサルタント
	藤 沢	久 美	シンクタンク・ソフィアバンク 代表
	松 本	肇	株式会社産業経済新聞社 取締役 営業・事業担当
	村 上	暁 信	筑波大学大学院 システム情報工学研究科 准教授
	渡 邊	光一郎	第一生命保険株式会社 代表取締役社長
	森 田	弘 志	一般財団法人 第一生命財団 専務理事
	宮 下	和 正	公益財団法人 都市緑化機構 専務理事

(敬称略 2016 年 4 月現在)

募 集 期 間

2016 年 4 月 1 日 (金) ～ 6 月 30 日 (木) 当日消印有効

発 表

2016 年 10 月中旬 (応募者全員に結果を通知いたします。)

表 彰 式

2016 年 11 月上旬 (東京都内で開催予定)

応募書類送付先および問合せ先

応募用紙は、下記ホームページからダウンロードして下さい。
郵送希望の場合は、事務局宛にご連絡下さい。

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2 階
公益財団法人都市緑化機構内「緑の環境プラン大賞」事務局
TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195
E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

URL: <https://urbangreen.or.jp>

シンボル・ガーデン部門（上限 1,000 万円）の募集について

地域のシンボリックな緑地として、緑の持つ環境保全機能（ヒートアイランド緩和効果・生物多様性保全効果）を積極的に取り入れることにより、人と自然が共生する都市環境の形成やコミュニティの活性化に寄与するアイデアを盛り込んだ緑地のプランを募集し、プラン実現のための整備費を助成します。

【地域社会のシンボルとなる緑地】

例えば、

- 公園、駅前広場、街路・河川空間等、公共性の高い場所での緑化
- 病院、福祉施設、商店街、マンション等、多くの人が利用する場所での緑化
- その他、上記施設の屋上や壁面、屋内空間での緑化、地域のシンボルとなる施設等

※ 公有地、民有地は問いません。募集者と土地の所有者または管理者が異なる場合は、土地所有者または管理者から緑化のプランの実現（緑化助成工事、維持管理等）に関して同意が得られる見通しがあることとします。（なお、受賞が内定した時点で、同意書および土地の賃貸契約書の写し等の提出をお願いすることになります。）

募 集 対 象

全国の民間・公共の各種団体。例えば、特定非営利活動法人、病院、福祉施設、商店組合、町内会、事業者、公益・一般の財団・社団法人、公共団体等の団体およびこれらと同等以上の団体であることとします。

※ 個人での応募は対象外とします。

応 募 条 件

① プラン実現のための応募対象地の活用が確実であること。

（応募対象地において土地の所有者または管理者等による事業の計画がある場合、その実施に際し支障にならないか確認した上でご応募下さい。）

② プランの助成要望金額は、上限 1,000 万円（消費税含む）までとすること。

- ③ プランの助成対象となる工事の発注については、助成決定通知後におこなわれること。
- ④ プランは、原則として、2017 年 3 月 31 日までに工事完了が可能であること。（ただし、緑化助成工事対象地が降雪地である等やむを得ない理由により工事完了が見込めない場合には、若干の延長を認めます。）
- ⑤ プランの助成対象物は、他の助成や補助等と重複しないこと。
- ⑥ 助成により完成した緑地は、最低 10 年間維持されること。

応募書類

応募は、都市緑化機構のホームページから「シンボル・ガーデン部門」応募用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入するとともに、以下 4 点の添付資料と資料データを収めた CD を送付して下さい。

《添付資料》

下記資料は、A3 判カラープリントにて提出して下さい。

1.位置図 都市計画図等の地図に、応募対象地がわかるように明記して下さい。
2.周辺図 周辺の状況および土地の形状がわかる地図上に、応募対象地（区域）を記載し、その現況写真を撮影方向がわかるように貼り付けて下さい。
3.プラン図 プラン平面図を着色のうえ、方位・スケール（縮尺）・凡例（樹種・施設名）を必ず入れ、緑化工事助成要望区域（物）を赤線で囲って下さい。
4.簡単なスケッチ 完成イメージを伝える彩色されたスケッチ等を添付して下さい。

上記以外の添付資料で応募内容を補足説明する必要がある場合は、必要最小限の資料（A3 または A4 判）を添付して下さい。

審査のポイント

- 【環境への寄与】** ヒートアイランド緩和や生物多様性保全等の環境保全機能が効果的に発揮され、都市環境の保全・再生に寄与するプランであるか。
- 【地域との関わり】** 地域住民の参加・協力が得られる等、地域コミュニティの活性化が期待できるプランであるか。
- 【公開性】** 緑地の公開性が担保されたプランであるか。（ただし、教育・福祉・医療関係施設等については整備、または管理における周辺地域との関わりが担保されているか）

表彰・助成内容

- | | | |
|-----------|------|------------------|
| ● 国土交通大臣賞 | 1点 | 表彰状（国土交通大臣名）、助成金 |
| ● 緑化大賞 | 2点程度 | 表彰状（主催者名）、助成金 |
- ※ 助成金は、1,000万円以内（消費税含む）

その他

- ◎ 応募書類・CD は、返却いたしません。
- ◎ 受賞プランの応募函面等の使用権は、主催者に帰属します。
- ◎ 応募されるプランの中で、自己資金または他からの助成金等の本助成以外の費用を含む工事が行われる場合には、本助成と本助成以外で行う工事（対象エリア並びに対象物）を明確に区分して下さい。
- ◎ 受賞プランの助成は、原則として受賞者が緑化工事を行い、都市緑化機構が工事完了の確認後、精算により完了させる方法で行います。
ただし、受賞者が施工管理能力を持たない場合、都市緑化機構が工事を行い、工事完了後、受賞者に引き渡します。
詳しくは、「助成要綱」を参照して下さい。

ポケット・ガーデン部門（上限 100 万円）の募集について

日常的な花や緑の活動およびクールスポットの創出を通して、地域交流やコミュニティの活性化・子どもの遊び場作り、保育園・幼稚園、学校、福祉施設等での情操教育や身近な環境の改善等のアイデアを盛り込んだプランを募集し、施設や設備の整備、資材購入等の費用を助成します。

【身近な地域交流や情操教育の場となる緑地】

例えば、

- 商店街、公民館、公園、駅前広場または街中の未利用地等での植樹、花壇の整備およびコミュニティガーデンの設置等
- 学校、保育園・幼稚園、病院・福祉施設、マンション等での植樹、花壇の整備やビオトープの設置および屋上や壁面緑化（緑のカーテン）等

募 集 対 象

全国の民間・公共の各種団体。例えば、花や緑の活動に関わる市民団体（花、緑、まちづくり等の各種ボランティアグループ）、特定非営利活動法人、学校・幼稚園・保育園、病院、福祉施設、マンション管理組合、商店組合、町内会、事業者、公益・一般の財団・社団法人、公共団体等の団体およびこれらと同等以上の団体であることとします。

※ 個人での応募は対象外とします。

応 募 条 件

- ① プラン実現のための応募対象地の活用が確実であること。
- ② プランの助成要望金額は、上限 100 万円（消費税含む）までとすること。
- ③ プランの助成対象となる工事の発注や資材購入等は、助成決定通知後におこなわれること。
- ④ プランは、原則として、2017 年 3 月 31 日までに整備完了が可能であること。
（ただし、花苗の植え付け等は、植物の適切な生育にあわせ、若干の延長を認めます。）
- ⑤ プランの助成対象物は、他の助成や補助等と重複しないこと。
- ⑥ 助成により完成した緑地は、最低 5 年間維持されること。

応募書類

応募は、都市緑化機構のホームページから「ポケット・ガーデン部門」応募用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入するとともに以下2点の添付資料と資料データを収めたCDを送付して下さい。

《添付資料》

下記資料は、A3判カラープリントにて提出して下さい。

1. 応募対象地の状況

周辺の状況および土地の形状がわかる地図上に、応募場所（区域）を記載し、その現況写真を撮影方向がわかるように貼り付けて下さい。

2. イメージスケッチ

完成イメージを伝える彩色されたスケッチ等を添付して下さい。

上記以外の添付資料で応募内容を補足説明する必要がある場合は、必要最小限の資料を添付して下さい。（A3またはA4判の資料2枚までとして下さい。）

審査の主なポイント

【環境への寄与】 クールスポットによる身近な憩いの場作り、ビオトープによる生物多様性保全、屋上・壁面緑化によるヒートアイランド現象の緩和等、都市環境の保全・再生に寄与するプランであるか。

【地域との関わり】 地域住民等の参加・協力が得られる等、地域コミュニティの活性化が期待できるプランであるか。また、街中や園庭・校庭等、子ども達の身近な場所を緑化することで、情操教育に役立つプランであるか。

【公開性】 緑地の公開性が担保されたプランであるか。（ただし、教育・福祉・医療関係施設等については整備、または管理における周辺地域との関わりが担保されているか）

表彰・助成内容

- 国土交通大臣賞 1点 表彰状（国土交通大臣名）、助成金
- コミュニティ大賞 9点程度 表彰状（主催者名）、助成金

※ 助成金は、100万円以内（消費税含む）

そ の 他

- ◎ 応募された書類・CD は、返却いたしません。
- ◎ 受賞プランの応募図面等の使用权は、主催者に帰属します。
- ◎ 受賞プランの助成は、受賞者が施工費、資材購入等の代金の支払い後、速やかに領収証の写しと購入した備品等の写真について所定の届出書を提出いただき、主催者で内容を確認後、精算により完了させる方法で行います。
詳しくは、「助成要綱」を参照して下さい。

特別企画「おもてなしの庭」（上限 2,020 万円）の募集について

2020 年に向けた特別企画として、花と緑で観光客をお迎えする魅力ある緑の創出、およびその場所でのおもてなしの活動に関するアイデアを盛り込んだプランを、東京都限定で募集します。

【花や緑で観光客を「おもてなし」する緑地】

例えば、

- 多くの来訪者がある観光スポット等での憩いや休息、催事場となる緑地の創出
- スポーツやイベントの会場周辺、マラソンコースの沿道等での緑地の創出
- その他、駅・空港等の交通拠点における広場や公開空地の再整備等

※ 公有地、民有地は問いません。募集者と土地の所有者または管理者が異なる場合は、土地所有者または管理者から緑化のプランの実現（緑化助成工事、維持管理等）に関して同意が得られる見通しがあることとします。（なお、受賞が内定した時点で、同意書および土地の賃貸契約書の写し等をお願いすることになります。）

募 集 対 象

民間・公共の各種団体。例えば、特定非営利活動法人、学校・幼稚園・保育園、病院、福祉施設、商店組合、町内会、事業者、公益・一般の財団・社団法人、公共団体等の団体およびこれらと同等以上の団体であることとします。

※ 個人での応募は対象外とします。

応 募 条 件

- ① プラン実現のための応募対象地の活用が確実であること。
（土地の所有者または管理者等による事業の計画がある場合、その実施に際し支障にならないか確認した上でご応募下さい。）
- ② プランの助成要望金額は、上限 2,020 万円（消費税含む）までとすること。ただし、プラン実現に向け、地域社会との協働による緑化計画、完成後の維持管理や活用に関する計画づくりに関わる経費について 200 万円を上限として助成する。この場合は、緑化工事とあわせて 2,020 万円（消費税含む）までのプラン内容とする。
- ③ プランの助成対象となる工事の発注については、助成決定通知後におこなわれること。

- ④ プランは、2018 年 3 月 31 日までに工事完了が可能であること。
- ⑤ プランの助成対象物は、他の助成や補助等と重複しないこと。
- ⑥ 助成により完成した緑地は、最低 10 年間維持されること。

応募書類

応募は、都市緑化機構のホームページから特別企画「おもてなしの庭」応募用紙をダウンロードのうえ、必要事項を記入するとともに以下 5 点の添付資料と資料データを収めた CD を送付して下さい。

《添付資料》

下記資料は、A3 判カラープリントにて提出して下さい。

1.位置図 都市計画図等の地図に、応募対象地がわかるように明記して下さい。
2.周辺図 周辺の状況および土地の形状がわかる地図上に、応募対象地（区域）を記載のうえ、現況写真を撮影方向がわかるように貼り付けて下さい。
3.「おもてなしの庭」コンセプト企画 訪れる人々を出迎え、おもてなしする空間づくり、およびその場所での活動プランの基本コンセプトがわかるように記載して下さい。
4.「おもてなしの庭」図面 プラン平面図を着色の上、方位・スケール（縮尺）・凡例（樹種・施設名）を必ず入れ、緑化工事助成要望区域（物）を赤線で囲って下さい。 なお、図面はパネル化・図集化せずに送付して下さい。
5.「おもてなしの庭」の簡単なスケッチ 完成イメージを伝える彩色されたスケッチ等を添付して下さい。

上記以外の添付資料で応募内容を補足説明する必要がある場合は、必要最小限の資料（A3 または A4 判）を添付して下さい。

審査の過程において、現地確認およびプランの説明（プレゼンテーション）を実施いただく場合があります。その場合は、詳細を該当者に通知します。

審査の主なポイント

【立地性】 「多くの観光客へのおもてなし活動が期待できる」「広く对外発信が可能となる」等、集客性や PR 効果等が高い場所であるか。

【地域・環境への寄与】 景観や環境、利用面等で地域への寄与が期待できる「おもてなしの庭」プランとなっているか。

【おもてなしの活動】 整備された緑地における「おもてなし」の活動プランが示されているか。

表彰・助成内容

- 「おもてなしの庭」大賞 1点程度 表彰状（主催者名）、助成金
※ 助成金は、2,020 万円以内（消費税含む）

その他

- ◎ 応募された書類・CD は、返却いたしません。
- ◎ 受賞プランの応募図面等の使用权は、主催者に帰属します。
- ◎ 受賞プランの助成は、原則として受賞者が緑化工事を行い、施工後、都市緑化機構が工事完了の確認後、精算により完了させる方法で行います。
ただし、受賞者が施工管理能力を持たない場合、都市緑化機構が工事を行い、完成後、受賞者に引き渡します。
- ◎ 計画づくり関わる費用の助成については、緑化工事完了の確認後、精算する方法で行います。詳しくは、「助成要綱」を参照して下さい。

その他の事項

募集、助成を行うにあたり、この「募集要綱」、別紙「助成要綱」に定めがないもの、および疑義が生じた場合には、主催者と応募者が別途協議して定めるものとします。

なお、以下の場合には受賞の取消、助成の中止、助成金の返還を求める場合があります。

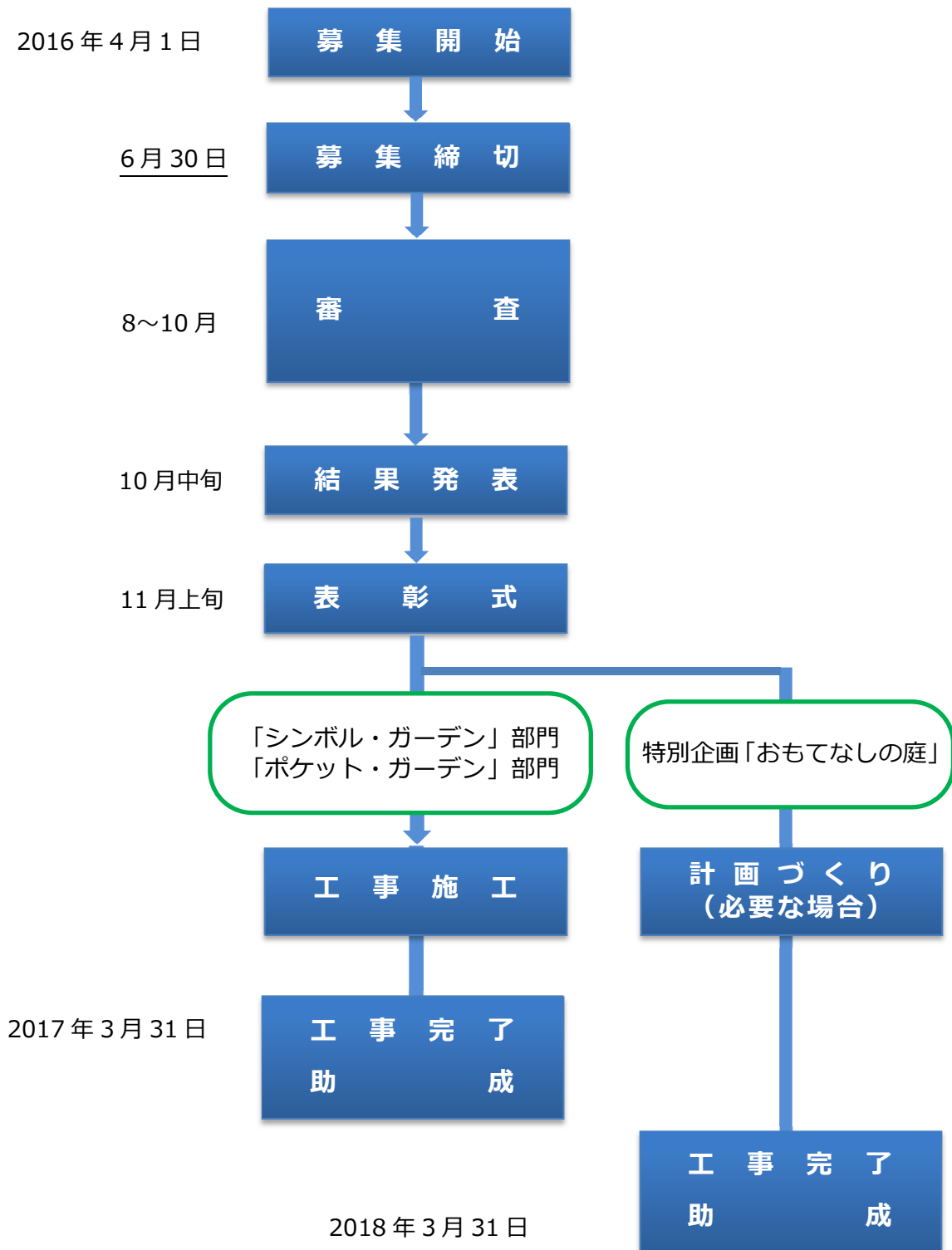
- ・応募内容が募集・助成要件を満たしていなかったとき
- ・応募内容が事実と異なっていた場合
- ・応募者が反社会的勢力・または反社会的勢力と関係を有しているとき 等

【個人情報の利用目的について】

公益財団法人都市緑化機構、第一生命保険株式会社、一般財団法人第一生命財団は、募集に際し入手した情報について以下を目的として利用します。

- ・審査に関わる問合せ、審査結果の通知、事務連絡
- ・応募内容に関する照会
- ・当賞の広報活動（新聞、雑誌、ホームページ、SNS 等への掲載）
- ・その他当賞に関する業務・運営管理

募集から助成までの流れ





主催・後援・協賛・協力

主催：公益財団法人都市緑化機構／第一生命保険株式会社／
一般財団法人第一生命財団

後援：国土交通省／環境省／全国知事会／全国市長会／全国町村会
／東京都（特別企画「おもてなしの庭」プラン助成）

協賛：一般社団法人建設広報協会／一般社団法人日本公園緑地協会
／一般社団法人日本造園建設業協会／都市緑化基金等連絡協議会

協力：株式会社フジテレビジョン／株式会社産業経済新聞社
／株式会社ニッポン放送

<募集・問い合わせ先>

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 3-2-4 田村ビル 2 階
公益財団法人都市緑化機構内「緑の環境プラン大賞」事務局

TEL : 03-5216-7191 FAX : 03-5216-7195

E-mail: midori.info@urbangreen.or.jp

<https://urbangreen.or.jp/>